

# 政策分析シート（平成26年度）

<b>政策名</b>	活力ある地域経済づくり	<b>政策No</b>	05	<b>部名</b>	産業経済部	<b>部長名</b>	石原	<b>内線</b>	440	
<b>関連部名</b>										
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	産業革新都市								
<b>目的</b>	地域経済が区民生活の礎であることにかんがみ、区内産業の発展、地域経済の活性化及び雇用の創出を促進し、もって区民生活の向上と活力ある地域社会の実現を図ることを目的とする。									
<b>指</b>	<b>幸福実感指標名</b>	<b>指標の推移</b>			<b>指標に関する質問文</b>					
		23年度	24年度	25年度						
	生活のゆとり			2.89	経済的な不安がなく、買い物などに不便のない生活を送ることができていると感じますか？					
	生活の安定			2.42	生活を送るために必要な収入を得ていくことに不安を感じますか？					
	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）			2.96	仕事と生活とのバランスが取れていると感じますか？					
	仕事のやりがい			3.34	仕事に、やりがいや充実感を感じますか？					
	まちの産業			2.52	荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると感じますか？					
買い物利便性			3.54	お住まいの地域での買い物が便利だと思いますか？						
<b>標</b>	<b>政策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>					<b>指標に関する説明</b>			
		23年度	24年度	25年度	26年度見込み	目標値(28年度)				
	新製品・新技術開発件数	1	4	2	4	5	MACCプロジェクト参加企業の開発等件数			
	融資実行件数	1053	677	852	1050	1200	年間件数			
	セミナー受講者の開業率(%)	11.5	22.2	15	20	20	受講生の開業率 23、24年度実績 25年度見込み			
	活性化事業実施件数	5	3	5	5	8				
	就職者数(人)	698	758	776	782	795	JOBコーナー町屋及び就職説明会による就職者数			
消費者講座等開催回数	26	33	46	50	53	23年度から出前講座・地域連携消費者講座を含む				
<b>現状と課題（指標分析）</b>	<p>長期にわたった景気の低迷・外国製品との競合等による売上減少・経営者の高齢化や後継者難等により、事業所数の減少傾向が続き、区内の産業活力が低下している。</p> <p>こうした状況に対応するため、都心との近接性や産学官の連携の可能性などの強みを生かして、活力ある地域経済づくりを推進することが重要な課題となっている。</p> <p>商業については、売上高の減少・経営者の高齢化等により、商店数が大きく減少する等厳しい状況に置かれており、区民の消費生活の拠点・コミュニティの中核である商店街の活性化を図るための対策が求められている。</p> <p>雇用情勢は改善基調で推移しており、区の支援事業を通じた就職件数が増加している。国の成長戦略を踏まえ、女性の就業を一層支援することが重要である。</p> <p>消費者にも一定の自己責任が求められる中、悪質商法や架空請求をはじめとする消費者トラブルについて、区民への一層の啓発を進める必要がある。</p>									
<b>今後の方向性</b>	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>MACCプロジェクトの推進により、「産学官の顔の見えるネットワーク」の構築を図るとともに、産学共同による新製品開発を目指す。さらに、ビジネスプランコンテストを契機とした新創業・新産業を支援するとともに、企業経営に必要な資金・設備・経営計画・情報等について、製造業実態調査や商業事業者訪問支援事業の結果等を踏まえつつ、新たな支援策を検討し、事業化していく。</p> <p>国・東京都・調査研究機関等との連携を強化し、区が中小企業振興のポータル（窓口）となる。企業の後継者の育成や熟練技術者の技能の承継等を支援し、モノづくり企業の発展を促進する。意欲のある商店街や個店の支援、繊維街・都電等の観光資源の活用により、商業活性化を図る。わかもの就労サポートデスク・JOBコーナー町屋の一層の周知、就職セミナーの拡充・専門ハローワークとの連携を進め、若年層・女性への支援を充実する。</p> <p>消費者問題への関心を喚起するため、消費者講座等の事業を積極的に実施する。</p>									

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	26年度設定	27年度設定	
産業基盤の整備・充実	推進	推進	ハード、ソフト両面から産業基盤の整備・充実を図ることは、区内産業の活性化を促進していくために必要不可欠であり、当該施策の優先度は高い。
新産業・新事業の創出支援	重点的に推進	重点的に推進	荒川版クラスター形成に向けたMACCプロジェクトの推進は、区内産業活性化のためには極めて重要であり、当該施策の優先度は極めて高い。
創業・起業の支援	重点的に推進	重点的に推進	事業所数の減少傾向が続いている一方で、区内での創業・起業が非常に少ない現状を踏まえると、区内での創業・起業を支援することは、区内産業の活性化のためには極めて重要であり、当該施策の優先度は極めて高い。
企業経営基盤の強化支援	推進	推進	企業経営に必要な資金、設備、経営計画、情報などについて、多面的に企業経営力の強化を支援することは、区内産業の活性化のために重要であり、当該施策の優先度は高い。
企業経営革新の支援	重点的に推進	重点的に推進	区内企業が厳しい企業間競争に勝ち抜くためには、新製品開発や新事業進出、販路拡大等、絶えず経営革新に向けて新たな分野へ挑戦することが重要であり、その取組を支援することは区内産業の活性化のため、極めて重要である。
技術・技能承継の支援	推進	推進	若者のモノづくりに対する関心の低下等により技術・技能の円滑な承継が難しくなっているため、後継者育成、技術・技能継承を支援することは、区内企業の継続的な発展を促進するために重要であり、当該施策の優先度は高い。
活気あふれる商店街づくり	重点的に推進	重点的に推進	区内の商店街を支援し、その活性化を図ることは、地域の活性化及び区民生活の安定のために極めて重要であり、当該施策の優先度は極めて高い。
就労支援	重点的に推進	重点的に推進	区民の雇用促進及び区内企業の人材確保を図ることは、区の重要課題であり、当該施策の優先度は高い。
安心安全の消費生活	重点的に推進	重点的に推進	区民の消費生活の安定と向上を図ることは重要な課題であり、消費生活に関する相談や情報提供、啓発活動を行う当該施策の優先度は高い。